

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46名	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日々の活動内容を変えて行っている。	・利用者が飽きることがないように、日々活動を変更して計画をしている。活動を計画する際には、利用者の状況や目的をはっきりさせて計画することを意識している。	・いろいろな分野から活動を取り入れることで、利用者に成長に繋がられるように、多方面からの情報収集をおこなっていく。
2	・課外活動を多く取り入れている。	・学休日には、日頃できないことを利用者にしてほしいという願いから多くの課外活動を計画し実施している。	・地域との関わりを増やしていくことで、大人との関わりを増やし、身近な大人から物事を教わる機会を増やしていく。
3	・子どもたちの自主性を大切に活動を行っている。	・集団で活動する時間以外にも、個別で活動できる時間を設け、自由選択ができることを大切にしている。また、活動後の掃除決めも子どもたちの主体性を大事にし、取り組めるように工夫している。	・みんなで行う集団活動を子どもたちに話し合いで決めてもらい、考えを発言する場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・高学年に対しての活動内容が少なく、偏りがある。	・年齢層の幅が大きいことから、低学年に合わせた活動内容となってしまう、高学年に対しては簡単な活動になってしまっていることがある。	・学年や特性によって分けて活動を行ったり、同じ活動でも難しさを変えるなどして、どの学年でも楽しめる活動を計画していく。
2	・中高生に対してのプログラムの構成	・就労に向けた活動内容をプログラムとしてつめきれていないことにより、活動が不明確になっている。	・中高生にとって何が必要なのかを再度考え、就労に向けた1年間のプログラムを作成し実施していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日		R7年 2月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・限られたスペースの中で出来る活動を考え、運動の際には机を移動させるなどしてスペースを作っている。	・もう少しスペースを広くすることにより、活動の幅が広がる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・常に4人の職員で支援が行えるように配置をおこなっている。	・事前に児童の情報や、職員の配置について確認を行い、怪我やトラブルを未然に防げるようにする。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	3	2	・段差がなく歩行しやすい床となっている。	・机や椅子が子どもにとって危ない状況をうむことがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎朝30分以上出入口を開け、換気をおこなっている。	・加湿器など感染予防に関する機器の導入が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・活動内容に合わせて場所の確保・備品の異動がすぐに出来るようになっていく。	・個室の防音対策が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・区切られた部屋や大小の活動場所があり対応出来ている。	・時間を定め、その時間内でおこなえるように進めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・年に1度調査をおこない、保護者の意見などを聞くことが出来ている。	・改善すべき点はすぐに対応し、すぐに取り組みないところに関しては、計画的に改善が出来るよう取り組んでいく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・いつでも意見交換ができるようにコミュニケーションをはかっている。	・決められた時間がなく、その場にいた人たちだけの意見交換となっているところもあるため、時間を決めて全員が把握できるようにする。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・近くの病院と協定を結んでおり、定期的に心理士が入り支援をおこなっている。	・第三者との意見交換の時間が取れないことが多いため、記録をおこない共有することを徹底していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・月に1度、全体研修を実施している。	・法律に関することが多いため、支援に対する研修が取り入れられるよう計画をおこなっていく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・利用者の特性を踏まえながら、目標達成ができるように計画を立てている。	・支援計画を全ての職員が把握し、計画に沿ったより良い支援ができるように話し合いをおこなっていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・聞き取りや事業所内での過ごし方・人との関わり方をみながら計画書を作成することができている。	・子どもへの直接的聞き取りがおこなえていないので、項目などを検討しながら実施へとすすめていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・担当を決め、全ての職員が関わりながら支援計画書を作成している。	・全職員の共有がおこなえるように会議を実施する。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・支援計画書を個別ファイルにて作成することで、いつでも確認出来るようにしている。	・新しい個別支援計画を作成した際には、共有時間を設け確認をおこなう。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・日々の活動の中で子どもたちの行動を把握し、支援計画への反映を行っている。	・標準化されたツールがないため、作成をおこなう。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・必要に応じて支援内容を考え、心理士との面談を取り入れたり相談支援事業所の連携をとったりしている。	・移行支援や地域支援に関して、現在取り組めていないので、どのように取り組んでいくべきかを職員間で話し合い、実施へとつなげていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員全員で活動を考え、リスク管理まで出来ている。	・より個々の意見が出しやすいように環境を整えていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・運動や工作、知育などいろいろな分野の活動を取り入れている。	・活動の中しっかりと目的、ねらいをもって活動プログラムを組めるようにする。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・個々の状況に応じて、個別活動を取り入れることもできている。集団の中でも、子どもたちの出来る範囲を把握して適切な支援がおこなえている。	・個別支援が必要となったときの職員配置も考えながら計画が立てられるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎日朝礼で支援内容を確認している。	・支援内容と役割分担を決めつつ、リスク管理もしっかりと共有できるようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・支援終了直後ではないものの、振り返りをする機会が多くある。	・その日の支援終了後の話し合いが難しいため、翌日の朝礼時間に必ず情報共有と振り返りをおこなうようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・日々、その日の中に記録をおこなうことができている。保護者へと公開することが出来ている。	・支援内容の検証・改善を日々おこなえるように時間を設定する。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に1度、対面を基本とするモニタリングをおこない、保護者とともに計画の見直しをおこなっている。	・利用をしていく中で、本人にとっての課題を見つけていき、保護者に状況を伝えつながら保護者の思いも含めた上で計画作成をおこなっていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・1つの活動の中でも、対人関係や体幹などいろいろなことが身につけられるように計画をすることができている。	・組み合わせる中でも、どこが一番重点をおくのかを明確にして支援を計画できるようにする。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・掃除は、子どもたちの自主性を大切にするように自分たちでやりたいところを選んでおこなうようにしている。	・自己決定が出来ない子や他の人と重なったときの対応方法を共有し、同じように支援ができるようにする。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・担当者会議の際には、関わり機関が参加して会議をおこなうことができています。	・LINEや電話を用いて、会議以外でも共有をおこなっていくようにする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・保育所等訪問をおこないながら、訪問先との連携をとって支援がおこなえている。	・障害者福祉、保育との関係性が薄いので強化をはかっていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	・支援に関して、情報を共有し支援することが出来ている。	・支援以外の部分での連絡体制が整っていないため、調整をおこなっていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・就学前に見学に来て、情報共有や相互理解は出来ている。	・保護者との情報共有はできているものの、関係機関との関わりが出来ていないので、関わりを深めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	・移行していくにあたっての懸念点を職員間で話をする事が出来ている。	・高校まで利用して福祉サービスに移行する場合には、相手側もしっかりと連携をとりながら、利用者が不安にならないよう進めていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・	・外部機関への研修の依頼はおこなっているものの、児童発達支援センターとの連携ができていないため、繋がりをもち連携をはかっていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・異なる学校の利用者が多いことから、交流の幅が広がっている。	・地域福祉施設の利用が出来ていない状況であるので、繋がりを作っていく。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		・協議会の情報を得ながら、できる限り参加ができるように調整をおこなっていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・記録の公開をその日のうちに行い、当日の様子を伝えられるようにしている。	・送迎等で直接はなしが出来る家庭とそうでない家庭があるため、統一した報告が出来るように対策を考える。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・保護者会を定期的におこない、悩みを聞いたり接し方を予言したりする機会を設けている。	・参加できない家庭に関して、文書のみでの案内となっているので、直接おこなえる機会を増やせるように工夫する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・活動前に使用目的をはっきりさせる案内をおこなっている。	・規約時以外にも年に1度は、説明を行うようにする。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・事前に面談をおこない、家庭の状況や子どもの状況を把握したうえで作成している。	・保護者が求めるものと子どもの利益が一致できるよう、より支援を考えていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・モニタリングの際には、対面で話せるよう時間を調整している。	・できるだけ対面での話ができるように早めに声掛けを行い、時間調整をおこなっていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・心理士を含めた面談をおこないながら、保護者に助言をおこなっている。	・全ての職員が同じように対応できるようにスキルアップをしていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	・保護者会を行うことで、保護者同士の関わりが増えている。	・保護者会の参加率が悪い場合、時期や時間を考慮して開催していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・毎日、その日の中に記録を各家庭に公開している。 ・LINEやイン스타그램をうまく活用している。	・すぐに対応ができるよう体制を整え、どのような動きをするのか再度職員間で確認をおこなう。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・インスタグラムやLINEVOOMでの活動概要の発信を毎日おこなっている。 ・学休日前には、LINEで送迎時間や活動内容を伝えることが出来る。	・写真や動画をうまく活用しながら、子どもたちの様子をよりリアルに伝えられるようにする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・活動場所と別に保管場所を設け、関係者以外が見ることが出来ないようにしている。	・個人情報の取扱について、再度職員全員で確認を行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・状況をみながら、適切な方法で対応することが出来る。	・職員誰でも対応できるように情報共有を密におこなう。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		・地域に対しての事業運営はおこなえてないので、地域を巻き込んだ活動ができるように計画をおこなっていく。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・マニュアルを開示し、目視出来るようにしている。	・職員間でも常に意識ができるように、マニュアルを職員がよくみるところに掲示し、訓練も頻繁に実施していく。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・避難訓練を敵的に活動に取り入れ、子どもたちにも意識ができるようにしている。	・いろいろな災害を想定した避難や救出の訓練・研修をおこなっていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	・新年度になった際に、毎回こどもの状況を把握するようにしている。	・職員間でも対応策を共有しつつ、研修などがおこなえたら行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・保護者からも情報を共有してもらい、緊急時の対処方法を教わっている。	・細かいアレルギーに関しての把握ができていないため、保護者に対して調査をおこなっていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・安全性を重視しながら、活動を計画することが出来る。	・活動以外の場面でも、安全に対して意識が出来るように認識を深める。

へ 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・モニタリング時など用いて、保護者につたえることが出来ている。	・どのような対策をおこなっているかなど、保護者に定期的に伝えられるようにする。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットが起こった際には、事業所だけでなく会社全体で共有することができている	・過去におこったこと振り返られるように、資料として残すようにする、
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・定期的に研修をおこなうことが出来ている	・研修以外でも、虐待についての意識を持てるように会議等で支援の振り返りをおこなっていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・契約時に説明をおこなっており、保護者からも理解を得られている。	・どこからを身体拘束をおこなうべきかを職員間で再度共有をし、実施にそのような場面になったときに速やかに行動出来るようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田
------	------------------------

公表日 R7年2月26日

利用児童
数

令和7年2月1日現在 53名

回収数

34

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	6	0	0	・消して広くはないが、狭くて窮屈ではない。	・机を動かしたり、活動場所を分けるなどして動きやすいスペースを確保していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	6	0	0	・児童に対して、適正な人数がわからない。	・常に職員が4名以上入れるシフトを組んでいく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	3	0	0	・LINEでもすぐ対応してくれ、助かっている。	・LINEをうまく活用して保護者への情報共有をはかっていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	33	1	0	0	・換気が足りない。感染症が懸念される。	・換気を行う時間を決め、1日に2回以上の空気の入替えを実施する。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	7	0	0	・何かあった際にはLINEで連絡をいただいたり、子どもが疲れているときは、寝かせてくれたりとありがたい。	・LINEとともに送迎時などで対面する際にも話ができるようになる。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	3	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	6	8	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	1	0	0	・様々な活動を計画しており、保護者にも目的など細かく知らせてくれるので、わかりやすい。 ・いろいろな物を工作できる時間があるのでうれしい。	・目的を明確にしなが、いろいろな活動を今後も考え実施していく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	16	1	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	5	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	5	0	0	・なかなか普段話す機会が少ないですが、LINE等ですぐに対応していただけるので助かっています。	・日頃の様子は記録にて公開し、保護者との情報共有が必要なときにはLINEや電話にて対応をおこなっていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	5	0	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	4	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	11	0	0		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	6	0	0	・何かあったときには、いつも親身になって話を聞いてくださり、対応してくださっています。	・相談や申し入れがいつでも受けられるように、環境調整をおこなっていく
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	5	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	1	0	0	・活動内容の様子を写真だけでなく動画でも見られるようにしていただき、子どもの様子がよく分かり嬉しいです。	・SNSの活用を始めたことにより、子どもの様子をよりリアルに伝えることができるようになってきている。今後もSNSをうまく活用しながら、保護者からの意見なども取り入れ発信をおこなっていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	7	1	0	・事故防止、感染防止に関するマニュアルに関しては、まだ拝見したことがありません。	・契約時に話をするだけで終わっている部分もあるので、保護者会やモニタリングの際に年1回は説明をおこなうように取り組んでいく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	9	1	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	4	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	6	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33	1	0	0	・信頼できる先生方なので、本人も安心して通所出来ています。	・子どもたちが安心できる関係を続けられるように、子どもたちの声に耳を傾け、本人にあった接し方ができるように努める。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	7	0	0	・活動内容を確認し、カレンダーに書き込んで楽しみにしています。 ・特に長期休みには、日頃できない体験を沢山計画していただき、とても楽しみにしています。 ・毎日楽しみにしています。 ・いつも子どもたちのためにありがとうございます。子ども同士や先生方との関わり、学習支援で成長を感じています	・通所する子どもたちの様子を常に気かけ、いつもと違う様子があれば、話を聞いたり関わりを増やししながら、状況を確認し、必要であれば環境の調整をおこなっていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	4	0	0	・子どもの特性や状況を把握していただき、毎回適切な対応をしていただき、ありがたいです。 ・いつも年齢や子どもに適したねらいが設定されていて、成長へと繋がっておりありがたいです。 ・学校以外の集団の中で生活を学ぶことが出来て、理解ある支援に感謝しております。	・子どもたちの成長を認めつつ、課題となっているところなどのような支援が必要なのかを常に考えながら、日々の支援をおこなっていくよう努めていく。また、子どもたちの笑顔を第一に考え、いろいろな体験・経験ができるよう活動を計画していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3ヶ所	(回答数) 1ヶ所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者の特性を理解し、利用者にとって最適な支援を計画しておこなっている。	・訪問支援の際に必ず声掛けをおこない、利用者の状況を確認し、支援後は訪問先の職員と意見交換をおこなっている。	・訪問支援以外の状況も踏まえ、訪問先と事業所とが連携をしながら支援をおこなっていく必要がある。
2	・学校側と児童に関する情報交換、共有を行っている。	・支援後に担任の先生と事業所での様子や学校での様子など、些細な事でも情報交換、共有を行っている。	・担任の先生にも事業所での様子を見て頂き、共通認識を持って支援を行えるように努める。
3	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	・情報共有ツールを使用したり、送迎時に保護者様とお子様の様子について共有を図っている。	・お子様の様子について共有を図りながら、どのように支援していくかご家庭でできること等提案させていただきながら各場面で統一した支援が行えるように努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先との情報交換の機会が少ない。	・学校の授業時間もあり、支援後の意見交換も短時間で済んでしまっている。	・学校が長期休暇中などを利用して、訪問先が時間を取れるときに積極的に意見交換の場を設け、お互いに情報を共有できるように働きかえていく。
2	・保護者の方に訪問時の様子は伝えてはいるが、全てを共有図ることが出来ていない。	文章にて様子を伝えていることもあり、伝わりづらい場面もある。	必要に応じて面談を行ったり、電話にて共有を図る機会を多く設けられるように調整する。
3	・支援終了後には職員間で共有が行えているが、支援開始前の打ち合わせが行えていない現状がある。	特定の職員のみで関わる事が多く訪問した職員が、支援終了後に職員全体で共有を行っている。	実施者や管理者だけではなく、職員全体で事前に話し合いや利用者の情報について共有する場を設けチームで連携して支援が行えるようにする。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田
------	------------------------

公表日 R7年 2月 26日

利用児童
数 5

回収数 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1	0	0		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	4	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	3	1	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	4	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	4	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	4	0	0	0		
保護者への 説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていていると思えますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	4	0	0	0		

明等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	1	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	1	0	0		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	・本人は少し恥ずかしいと思うこともあるようですが、学校から聞く本人の様子と照らし合わせながら本人について知ることができ助かっています。	・学校での様子、事業所の様子を踏まえながら、課題や成長しているところを保護者にも伝えられるように、今後おこなっていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用者にあった教材を準備できている。 ・訪問先が準備しているのも以外にも事業所として準備できるものがないか検討を行っていく。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・1人1職員を配置することが出来ている。 ・訪問先との日程が合わせられないことが多い。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>	・訪問した職員以外の職員に対する共有が全員には出来ていなかった。 ・訪問実施後、職員共有をするための時間を確保し、訪問先での様子や現状を必ず共有をおこなったいく。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・評価表を基に改善すべき点を明確にして、保護者の意向に沿った支援をおこなっている。 ・改善点を1つ1つクリアするために、職員間でも話し合いをおこなっていく。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保育所等訪問をおこなった職員と管理職で話し合いをおこない、支援に対するの取り組みを考えている。 ・実施者と管理職だけでなく、他の職員も含めて話し合いをおこなっている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	・明確な第三者に評価をしてもらう必要がある。 ・保護者に対してのアンケートだけでなく、関わる全ての機関に対してもアンケートをおこない、改善点がないかを把握していく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		<input type="radio"/>	・積極的な研修への参加が必要。 ・関係性のある研修に参加し、考え方や支援の方法を学ぶ必要がある。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・保護者からも訪問先での様子などを聞き取りをおこない、課題を検討し、支援計画書へと反映している。 ・訪問先とも話をしながら、共通の支援意識を持てるようにする。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・訪問をした職員から現状の聞き取りをおこないながら、計画書を作成することが出来ている。 ・直接かかわらない職員も含めた上で、支援計画書を作成していく必要がある。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		<input type="radio"/>	・支援計画書の共有が出来ていない。 ・保育所等訪問を行う際に、事前にごのようなことを支援したいのかを伝えることで、共通認識を持てるようにする。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・支援計画書は全ての職員が閲覧することが出来ている。 ・支援計画書の修正、追加等は作成者のみで考えているので、訪問者も含めた上で作成を進めていく必要がある。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・訪問先での様子、事業所内での様子の違いを含めた上で支援計画の作成をおこなっている。 ・事業所内の様子を訪問先にも伝え、共通認識を持てるようにする。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・ガイドラインの具体的内容を参考にしながら、利用者の特性にあった支援計画を作成することが出来ている。 ・利用者の現状を踏まえながら、より利用者にあった支援計画が作成できるように話し合いをおこないをおこなっていく。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画に沿った支援を毎回おこなうことが出来ている。 ・限られた職員間での共有が多かったため、事業所内全ての職員と共有出来るように機会を設けていく。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	・特定の職員のみが関わることが多く、チームとして支援することが出来ていなかった。 ・支援開始前での共有があまり出来ていなかったため、今後実施の際には、支援の意図を訪問先にも伝え支援をおこなっていく。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
16	○		・支援後は記録として残し、当日の利用者の様子・状況を共有している。	・記録としてだけ残すことが多く、共有する機会を設けることが少なかったため、支援後に話し合いをおこなう時間を設けるようにする。	
17	○		・訪問先の意向をうけとりながら、支援をおこなっていた。	・訪問先と情報共有をおこない、訪問職員が出来ることを明確にして、利用者の支援へと繋げていく。	
18	○		・利用者がおこなっていたこと、課題となることを記録し、改善へと繋げている。	・記録だけで終わることもあるので、共有を徹底し、検証・改善をおこなっていく。	
19	○		・訪問支援後は記録を保護者に公開し、訪問先での様子を共有している。	・保護者との関わりはあるものの、訪問先との意見交換などがあまり出来ないで、時間を設け計画の見直しへと繋げていく。	
20	○		・担当会議の際には、現状を把握した上で今後、どんな支援が必要なのかを話し合うことが出来ている。	・話し合った内容をどのようにして訪問先での支援に繋げていくかを考えていく。	
21		○	・学校に対してが少しずつ出来てきたが、その他の機関に関する関わりはまだ出来ていない。	・利用者に対して必要な機関との連携を強化していく。	
22		○	・就労時の移行支援は、対象者がいない。	・今後の関わりの中で、中高等部への移行支援が必要な利用者があるので、中高等部への関わりも強化していく。	
23	○		・心理士を含めた会議などをおこない、職員だけでなく専門的な目線からのアドバイスをもらいながら、支援計画をおこなっている。	・職員も専門的を身につけながら、計画をおこなっていけるようにする。	
24		○	・参加できていない状況があるので、情報を得ながら参加できるようにする。	・行われている会議の情報を入手しながら、積極的に参加をしていく。	
25	○		・支援ごとの記録を公開するとともに、来所時には話をおこなうことで共有をはかっている。	・保護者にもわかり易い言葉で記録をおこない、自宅でもできることを提案していく。	
26		○	・記録や報告だけになっているので、研修会が行えていない。	・研修会を実施できるように職員のスキルアップをはかる	
27	○		・契約時に説明を行い、保護者にも理解を得られている。	・定期的に伝えていくことで、保護者への安心へと繋げていく	
28	○		・実施前には、訪問の意図を伝えることが出来ている。	・実施前だけでなく、それ以外の時間を設けてより詳しく話すことが必要	
29	○		・作成前にはモニタリングをおこない、保護者の要望や悩みなどを聞き、計画書へと反映している。	・保護者の意向は取り入れられるが、子どもの意向をもっと取り入れられるようにモニタリングを強化していく。	
30	○		・計画書を提示しながら、説明をおこない同意も得られている。	・更新時にはモニタリングを行い、より良い支援ができるよう検討をおこなっていく。	

関係機関や保護者との連携

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田		公表日	R7年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
						保護者等への説明等
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	・保護者間での交流が少ない。	・定期的に保護者会などを行い、交流出来る場を設けていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・相談や申し入れがあった際には、すぐに事業所内で共有をおこない、対応することが出来ている。	・いつでも誰でもが相談に対応できるように、職員全員が対応できるようにする。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		<input type="radio"/>	・訪問先の許可を得る必要がある。	・写真や動画は対象外の子どもも映り込む可能性があるため、それ以外の方法で情報を発信する術を考える。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・外部へ情報を開示する必要があるときには、必ず事前に保護者に伝えることが出来ている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・相手のことを考えながら、相談対応がおこなえている。	・考えていることがしっかりと伝わるように研修などをおこなっていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。		<input type="radio"/>	・訪問支援時以外での関わりが少なく、相談を受ける機会が少ない。	・訪問支援以外での時間に訪問先を訪れ、話ができるようにする。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		<input type="radio"/>	・時間調整が出来ずに行っていない。	・訪問先との時間調整を行いながら、定期的におこなえるように環境を整えていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		・その日のうちに記録をおこない、保護者との共有をおこなっている。	・記録だけでなく、送迎時などを使って直接話しをする時間を設ける。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・個人情報は保管場所での管理をおこなっている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		<input type="radio"/>	・訪問支援後に話をする機会がとれていない。	・訪問先の状況を確認しながら、定期的に話し合いが行えるよう調整をおこなっていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・それぞれのマニュアルを策定し、掲示が出来ている。	・非常事態に備えたマニュアルを再度確認し、目視出来る場所に掲示する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・定期的に研修・訓練をおこなっている。	・計画内容を職員全員で確認し、定期的に改善点がないか話し合いをおこなう。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・ヒヤリハットがおこったときには、振り返りをおこない防止策を考えてる事ができている。	・ヒヤリハットが起こったその日に解決出来るようにする。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・月1回の研修をおこなっている。	・事例などをもとにして、実際に職員がどのように動くべきかを確認する。

公表

事業所における自己評価結果

公表日 R7年 2月 26日

事業所名	放課後等デイサービス edu.base上荒田
------	------------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束を行う条件なども確立されており、保護者にも説明ができています。	・いつでも職員が確認できるように、ファイルに保管しておく。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R7年 2月 26日

放課後等デイサービス edu.base上荒田

利用児童数

回収数 1

チェック項目

はい

どちらとも
いえない

いいえ

ご意見

ご意見を踏まえた対応

1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。

1

0

0

・夏休み等にゆっくり話ができる機会があればよかった。

・長期休暇に入る前に、学校側に連絡をおこない両機関が意見交換が出来るように調節を行っていき

2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。

0

1

0

3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。

1

0

0

4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。

0

1

0

5 事業所からの支援に満足していますか。

1

0

0

その他のご意見

ご意見を踏まえた対応

学期ごとの節目で訪問支援員と学校の先生、可能であれば保護者や本人も同席をし学期ごとの振り返りや長期休暇に向けた取り組みなど目標設定をしながら長期休暇に入れるような会議の場を設けられるようにしていきます。

支援先と学校での課題に違いがあったり、視点が異なるため、お互いに必要な情報や支援方法の確認をしてけるように努力していきます。